

印西大師 第70番 別所・宝泉院

1 名称 (No.070)〔手引鏡：宝泉院〕〔資料館：宝泉院〕〔行程表：法泉院(28年度)〕

2 場所 印西市別所1005 宝泉院

地蔵堂から道程約200m 車に注意！

GPS座標 35.82381203263343, 140.1592343562177

3 由緒 天台宗 金亀山 宝泉院 地蔵寺

宝泉院は天長から承和(829～837年)にかけて慈覚大師によって仁明天王の勅願所として建立されたといわれる寺院です。現在では宝泉院と地蔵堂などを残すだけとなりましたが、かつては、七堂伽藍の大寺で、下寺に八ヶ寺を擁したといわれています。また、慈覚大師が波平行安の作と伝えられる宝剣で、疫神降伏の秘法を修し、17日間丹精を込めて祈念したところ国中の悪疫が退散したという宝剣が霊宝として伝えられています。(印西名所図会)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。

5 境内 本堂(宝泉院)、山門、印西七福神(福祿寿)、石神堂などがある。春は藤、秋は本堂裏の紅葉がきれい。

6 写真 (2023.04撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



山門と本堂



藤



石神堂

7 情報

(1) 印西大師 第70番 宝泉院 御詠歌 (泉倉寺本による)

本山(もとやま)に誰か植たる花なれや 春こそ手折(たお)れ手向にぞする

四国八十八ヶ所 第70番 高野山真言宗 七宝山(しっぽうざん) 持宝院 本山寺(もとやまじ) 写し

(2) 宝泉院

宝泉院は、天長6年(829年)～承和4年(837年)にかけて、慈覚大師により仁明天皇の勅願所と

して建立されたといわれています。かつては七堂伽藍の大寺で、下寺に八ヶ寺を擁したといわれています。境内には、臼井城主・原式部少輔胤成の祈願所があったといわれています。現在では、宝泉院と地藏寺を残すだけです。宝泉院には、人々に限りない幸運と長寿の源を授けてくれる神様、福祿寿を祀るいんざい七福神があります。福祿寿は、短身、長頭で美しい頬髪を生やし、幸福、高祿、長寿を与える三徳の神です。寺は「金竜山地蔵寺宝泉院」と呼ばれます。周辺には、熊野神社、木下別所廃寺跡などがあります。(千葉県公式観光物産サイトより)

(3) 宝泉院地藏寺の歴史

地藏寺は約1200年前に創建された、千葉県印西市にある比叡山延暦寺を本山とする天台宗の寺院。山号を金龍山、院号を寶泉院、寺号を地藏寺という。

寺伝によれば、奈良時代聖武天皇の御代、高僧行基菩薩全国巡錫の折りこの地に草庵を結んだことに始まる。ついで平安時代淳和天皇の御代、この地方は大飢饉におそわれた。悪疫が流行し人民は餓死するものが多く、これに心痛した天皇の勅により、慈覚大師円仁東国巡錫の折りこの地に逗留し、この地こそ地藏菩薩の有縁の地なりと一念救世の心願を立て、三七日の間、悪疫退散と五穀豊穰の祈祷護摩供を勤修され、一刀三礼の下に御丈三尺の地藏菩薩を刻して祭祀された。後に大師の言上により、仁明天皇の勅願所として承和年間に開山。近郊に八ヶ寺の堂塔を建立し、寺領八十九石を与えられた。この地を御供地として他の地と区分して、別の所としたのが別所の地名の根源である。その後臼井城主の祈願寺ともされたが戦国時代に寺領は没収され、兵火にも遭遇し堂宇は焼失したが、江戸時代に入り領主稲葉氏の加護により、除地十三石を与えられ堂塔を再建。現在に至る。(地藏寺HPより)

(4) 宝剣様

毎年1月5・6日に「宝剣様」と呼ばれる民俗行事が行われます。この行事は、慈覚大師が波平行安の作といわれる宝剣で疫病降伏の秘法を修し、国中の悪疫を退散させたことに由来を発しています。現在も住職や檀徒が檀家を巡り、家人の一人ひとりの頭上に宝剣の入った箱をかざし、家内安全を祈願して回ります。(「千葉県公式観光物産サイト」HP)

(5) 木造地藏菩薩立像〔県指定有形文化財〕

ヒノキ材で、頭と体の大部分は一木から彫り出し、体部は背面から内刳し、両肩で割りつなぎ合わせてある一木割刳造です。像高は97.5センチメートルです。頭部は首で分離し、耳後で前後に割り内刳し、つなぎ合わされています。さらに面部を割り玉眼がはめ込まれています。ただし、この玉眼は後に補われたものです。表面は錆地漆塗の上に白土地の彩色がされています。肌部分の彩色はすべて剥落していますが、僧祇支は、丹彩が塗られ縁にはその上に白が施されます。袈裟表は丹地に切金斜格子を置き緑青・群青・朱・白で文様が描かれ、条葉は群青地で、切金線2本で縁取られます。袈裟裏は緑青地に切金、裙は丹地で縁に切金が施されます。額が張り、ややつり上がった目と引き締まった顔、動きのある衣文などに鎌倉時代の特徴がみられます。繊細で巧みな彫技が示されますが、表面の彩色・切金も繊細で、当初の華麗なさまをとどめている作例で、鎌倉時代前期に造られたものです。(印西市HPより)



(6) 法泉院

平成28年度印西大師順路行程表には、別所 地藏院の次に「法泉院」との記載が見える。「宝泉院」の書き間違いであろうか。平成19年度と平成24年度の印西大師順路行程表には別所 地藏院とあるが宝泉院の記載がない。「地藏院」で第20番と第70番の両方を表示しているのかもしれない。それなら平成28年度印西大師順路行程表に「法泉院」の名が出てくるようになった理由は何なのか。